

1 福岡県学力調査実施状況

(1) 調査学年・科目

小学校（対象学年：5年生） 国語、算数

中学校（対象学年：1年生及び2年生） 国語、数学

(2) 参加状況（代表値：国語）

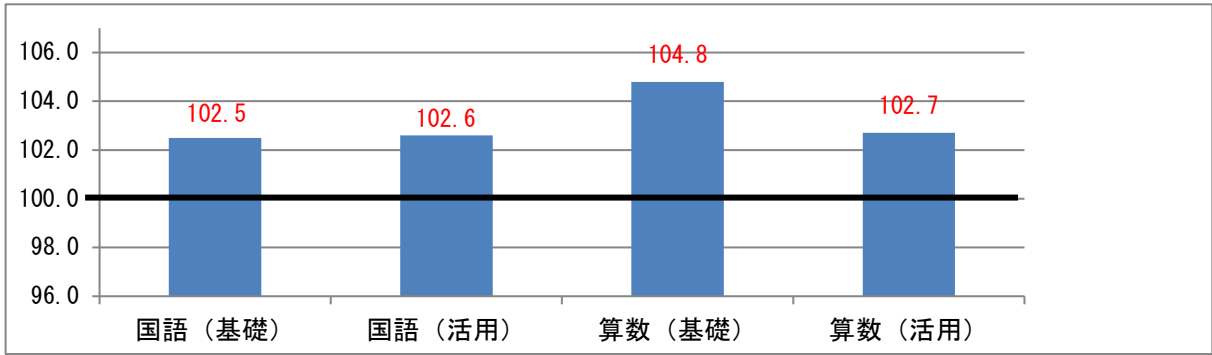
小学校 5年生 福岡県：23,459人 糸島市：893人

中学校 1年生 福岡県：22,279人 糸島市：860人

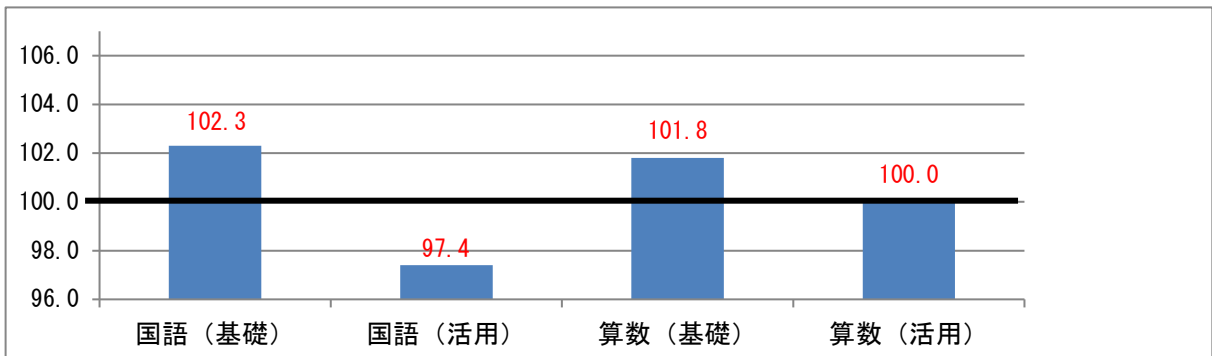
2年生 福岡県：20,869人 糸島市：840人

2 平均正答率 ※県平均を100.0（太線）とした標準化得点に換算

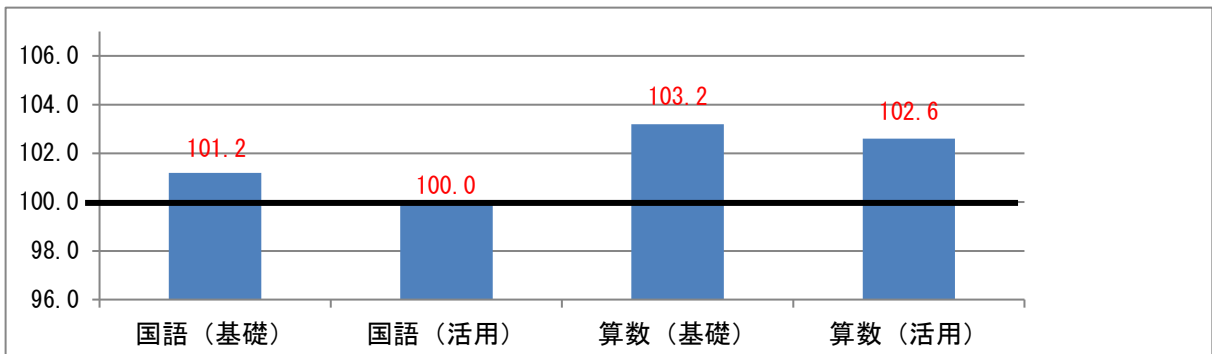
(1) 小学校 第5学年



(2) 中学校 第1学年



(3) 中学校 第2学年



- 小5の国語以外、基礎区分が活用区分より上回っている。
- 中1の国語（活用）のみ、福岡県平均を下回っている。

3 結果から見えた糸島市の課題

【小学校 第5学年】

- 文章の書き方の工夫を問う問題について課題がある。

【中学校 第1学年】

- 話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめる問題について課題がある。

【中学校 第2学年】

- 表記や叙述の仕方などを確かめて、読みやすくわかりやすい文章にする問題について課題がある。
- 比例・反比例において関数の意味を問う問題について課題がある。

【小中共通】

- 国語では、根拠をもって「選択」する問題について課題がある。

4 学力向上における今後の取組について

糸島市学力向上プラン「課題解決のための5つの方略」に基づいて取組を行う。

(1) 学力向上のための基盤整備

① 少人数学習等の充実

- ・学習習慣定着事業や学力向上地域協働事業による地域人材を中心とする外部講師の活用

(2) 教員の実践的指導力の向上

① 学習指導の日常的な改善

- ・条件を満たした考えを書かせたり視点をもとに考えさせたりする言語活動（「書く」活動の段階的指導）の充実
- ・児童生徒による授業評価の実施（マークシート方式で学期に複数回実施）と、評価結果を踏まえた授業改善（短いスパンでの取組成果の検証）
- ・根拠をもとに選択させる言語活動の充実

② 調査問題を活用した学力向上研修会の実施

- ・領域や観点、問題形式などの自校の課題を把握
- ・解説資料を活用し、過去の学力調査問題をもとに定期考査や授業改善案の検討

(3) 学校における改善の徹底

① 検証改善サイクルに基づいた学力向上プランの作成・活用

- ・各学校で結果分析を行い、学力向上プランを修正
- ・全教科・全学級で徹底して取り組むことができる内容の確認
- ・学校全体での学力向上の取組と定期的な評価の実施（児童生徒による授業評価含む）